

KINO-CART

芸術オーディオ フォノ
カートリッジ (箱根寄せ
木細工風シェル付き)



レイオーディオ、箱根総転 15 周年記念製品

販売価格 900,000 円 (消費税別)

REY AUDIO KINO-CART と芸術オーディオ

レイオーディオは芸術オーディオを提唱し、その追求に邁進しています。芸術オーディオはオーディオによって再現された音楽も音楽として普遍性を持った魂の感動を秘める本物でなくてはならないという自然な目標の実現を目指しています。多くの音楽ファンにとっても違和感のない同意しやすい目標でしょう。

昨今のアナログレコードの再普及はめざましいものがあります。アナログレコードの中にこそ芸術オーディオ的な自然観が息づいていることと関係が深いと思います。

レイオーディオにも真に芸術オーディオの思想に根ざしたフォノカートリッジの製品化を望む声が多く寄せられて来ました。

私たちに初めてのカートリッジですが、長年オーディオの第一線に立ってききました中でいろいろな構想があり、ぜひ実現させたいことがたくさんたまっていました。

芸術オーディオを志す方々に必ず支持していただける内容で満を持して出すレイオーディオのフォノカートリッジ、それが **KINO-CART** です。

KINO-CART の特徴

自然な音質を特有の音質用語で現すのは矛盾がありますが、KINO-CART はすばらしい伸びのある音質をベースにしながら、耳に優しい穏やかな音質です。むしろまるやかかといっても良いでしょう。音楽を生き生きと、そして深々と表現できます。これぞアナログの醍醐味です。

この音質性能を実現するために大切であったことは針先を含めた振動系の開発と、インピーダンスや、出力値などの電氣的性能の高度なバランス感覚です。

まず高価なカートリッジですが、針先の摩擦が少なく長く使えれば、ランニングコストを低く抑えることが出来ます。レイオーディオではトレース性能に優れたラインコンタクト針を基本に考えましたが、ラインコンタクト針は両刃のナイフのように鋭利で、傷つきやすい形状であることに問題を感じてきました。それだけ寿命も短いでしょう。レコード溝の底に軽い基点を作ることで、ラインコンタクト針の負担を軽くできないかとの発想で、先端に極小さい円球を作るようにしました。もちろんダイヤモンド一体の研磨です。この微細構造は最新の研磨技術の成果です。この結果円錐針のような安定した長寿命を持ったラインコンタクト針が出来ました。

この長寿命針を確実に植え付けるためにカンチレバーは穴加工にこだわりました。穴を開けられない材料ではイモ付けになり針植え付けの強度が不足します。針先の摩擦熱も考えれば非常に大切です。そこで選んだのは人造ルビーの丸棒です。人造ルビーは緻密で均質な丈夫さを誇ります。それでいてやはり宝石然とした美しさで魅せます。ルビーはダイヤモンドに次ぐ堅さを持ち、内部の音速の大きさでも知られます。細くして軽量化を図っても信頼の丈夫さです。カンチレバーのニュースター誕生です。

シェルについて

KINO-CART はシェル一体です。シェルに取り付けるのもその後のリード線の接続もかなりの熟練を要する難しい作業です。この難しさを取り除き、安心して使えるのがシェル一体です。シェル選びの煩わしさからも解放されます。KINO-CART の一体シェルは箱根寄せ木細工をモチーフにした芸術品です。鉄木(金属なみの剛性)と樺(粘り強い強度)を併せたサウンド的にも最適な構成です。美しい木地仕上げも自慢です。シェル内部にはレイオーディオ独自の Carbo-Trap を入れてさらにアースを取った TSS (Total Sleeve Shielded) により音場が広く自然です。収納ケースも永らくご愛用いただけるように箱根の銘品木象嵌細工です。

KINO-CART の仕様

針 ダイヤモンド LLLC
(Long Life Line Contact)
カンチレバー ルビー 0.3 φ丸棒
発電方式 パーマロイコア入り MC
出力電圧 0.5mV
出力インピーダンス 4 Ω
コイル材質 純銀線
マグネット ネオジウム磁石
推奨針圧 2 ± 0.25 g
重量 26.5 g (変動します)
寸法 24W(w/o finger lever)
x 66(全長) x 25.4h
シェル材質 鉄木+樺 (箱根寄せ木技法)
ケース 箱根木象嵌細工 (伝統工芸)
仕様は代表値です。予告なく変更することがあります。